

## 岐阜市あけぼの会便り

平成31年1月号

あけましておめでとうございます。

昨年は、甲州・東海ブロック大会（高山大会）をはじめ、多くの講演会がありました。

### 1月例会 新春例会

日時：1月26日（土） 13:30～15:30

会場：日光コミュニティセンター

内容：Jazz演奏会（ピアノとボーカル）

会場、日時が変更になっております。よろしく申し上げます。

### 2月例会

日時：2月12日（火） 13:30～15:30

会場：南市民健康センター

内容：交流・相談会

親なきあとの将来のことを 親子で考えるセミナー

日時：1月13日（日）13:00～16:00

会場：じゅうろくプラザ 中会議室2（JR岐阜駅 隣接）

主催：くらしケア 058-214-6592 <入場無料 定員90名 先着順>

「知ってもらいたい心の病」講演会

日時：3月1日（金）13:30～15:30

会場：ハートフルスクエア G 2階 大会議室

講師：森「ふなぶせ」理事長

主催：ぎふかれん 058-271-8169

## 連絡先

「ぎふかれん」家族による家族のための電話相談 058-271-8169

火・木曜日 10:00~15:00

悩み、行事の案内など、お気軽に電話して下さい。

### 岐阜市あけぼの会 役員の連絡先

服部 247-6004

熊谷 090-6578-9838

山内 246-0409

中村 090-7039-9447

石田 090-6084-2124

筒井 090-2685-022

## 岐阜市楽らくクラブ（当事者会）

### 1月例会

日時 : 1月27日（日）13~15時（第4日曜日です。）

場所 : 日光コミュニティセンター

連絡先 : 石田 吉保 （090-6084-2124）

山内久美子 （058-246-0409）

## 12月例会の報告

12月4日(火) 南市民健康センター 13:30~15:30 参加者 27名

今回は11月9・10日に開催された「平成30年度 甲州・東海ブロック 精神保健福祉促進研修会 高山大会」での講演会のビデオを鑑賞しました。

講師 伊藤順一郎氏

演題 「開かれた地域精神医療、進めようアウトリーチを」

《要旨》

- ・病院勤めの頃は、身体拘束が多かったし、隔離もたくさんあった。  
本人さんたちは入院してよかったのだろうか？本人にとってよかったと思える人は半分  
いただろうかと疑問に思ってきた。
- ・自宅で生活している人や引きこもりの人、入退院を繰り返している人や退院後の生活困難  
な人たちの支援を研究活動としてやってきた。
- ・2015年にメンタルヘルス診療所しつぽふあーれの院長となり、訪問看護ステーションと  
ACT及び相談支援を行っている。
- ・千葉県市川市（人口70万人）でACTの利用者は現在80名ほどで、月2回の訪問、月1  
回・週1回の訪問の時もある。
- ・利用者さんは、統合失調症の人が半分、双極性障がい者が4分の1ほど。その他神経症や  
PTSDの人、発達障がいの人たちです。
- ・訪問診療を始めてから分かったことで、例えば入院の必要があっても本人がイヤだと言え  
ば、こちらに強制力はないから入院できない場合がある。そういうとき、入院させずに在宅  
で治療が出来ないものだろうかと考えました。
- ・課題はいかにしてお互いに心地よく、利用者にとって役立つ治療関係を築き、それを維持  
していけるかということです。
- ・「みんなねっと」などのアンケートで診療へのニーズとして
  - ① 治療者と話しやすいこと。
  - ② 本人の気持ちを聞いてほしい、わかってほしい。
  - ③ 一方的でないように話してほしい。
  - ④ 本人や家族に丁寧に説明してほしい。などとありました。
- ・治療者は本人に「人として向き合う」ことが上記のニーズから大事なのだと思います。本人  
特有の悩みや苦しみ（妄想・幻聴）を否定せず、じっくりと聴くなかで希望が持てるように  
もっていく。そのようにして何とか入院しなくてもよい方向に向かないだろうか考えてい  
ます。
- ・病気中心でなく、人間中心に診ること。  
病が長期になっても、本人がどういう人生を送りたいかを丁寧に聞き応援したい。  
病の治療で人生を台無しにしない。「こころの臨床」のあり方を深めたいと思う。
- ・「まんじゅう理論」というのがあります。  
人は、まんじゅうのように「あん」と「皮」があって「あん」は苦しみで「皮」はそれを取  
り巻く様々なもので両方とも大事なのです。